

臧黎清特任講師が第 28 回日本未病学会学術総会「プロシーディング部門・2020 年度最優秀論文賞」を受賞しました！！

一般社団法人日本未病学会では、毎年機関誌である「日本未病学会雑誌」に掲載された原著論文とプロシーディングから最優秀論文を決定し表彰しています。本年度の日本未病学会最優秀論文賞を、本卓越型リサーチセンターメンバーの臧黎清特任講師（地域イノベーション学研究科）が受賞しました。彼女の論文「2 型糖尿病モデル動物における CENPX 遺伝子発現抑制による血糖低下作用」は 2020 年度第 26 巻 3 号に掲載されました。

2017 年に世界で初めて発表した 2 型糖尿病モデルゼブラフィッシュ（*Sci Rep.* 2017;7:1461）を用いて、新たな糖尿病治療標的遺伝子 CENPX を発見し、マウス実験でその作用を証明、メカニズムを明らかにした研究成果です。

